

Aptamers in Bordeaux 2019 参加報告

広域科学専攻 生命環境科学系修士課程 2 年 中村 玲

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受けて、現地日時 2019 年 6 月 28 日から 2 日間、フランスのボルドーにて開催された “Aptamers in Bordeaux 2019” に参加した。本集会は、世界中からアプタマーの研究を行っている科学者が集って学際的な研究を含む最新の知見の発表と情報共有、そして研究を遂行する上で重要な人脈の形成をおこなう場であった。規模はそれほど大きくはなかったが 1 つの分野に絞り込んだ学会故にどの発表も大変興味深く、アプタマー研究の最前線で活躍している科学者のアイデアを数多く拝聴できる有意義なものであった。報告者は、“Circular bivalent thrombin aptamers having nuclease resistance and high anti-coagulant activity” というタイトルでポスター発表をおこなった。本発表の趣旨は、2 つのアプタマーを組み合わせて環状化することで血清安定が向上しより強力な活性をもつアプタマーを構築するというものである。昼食をかねたコミュニケーションの場も設けられ、国の垣根を超えて交流する稀有な経験が得られた。残念ながら

専門的な英語は聞き取りにくく、更なる英語力を高めておく必要があると痛感した。最後に、有意義な経験をさせて頂いた本支援に報いることができるよう、研究活動により一層注力する次第である。



左から会場の外観、会場受付、口頭発表の様子